

竹田市立南部幼稚園 10月中旬(10月11日~18日)「運動会ごっこ」

【ねらい】友達と一緒にいろいろな競技をする中で、自分の力を出すだけでなく、友達と考えを出し合い、工夫したり協力したりして遊ぶ楽しさを味わう。

【内容】友達と一緒に、しゃぼん玉液づくりや、しゃぼん玉遊び用の道具づくりをして楽しむ。

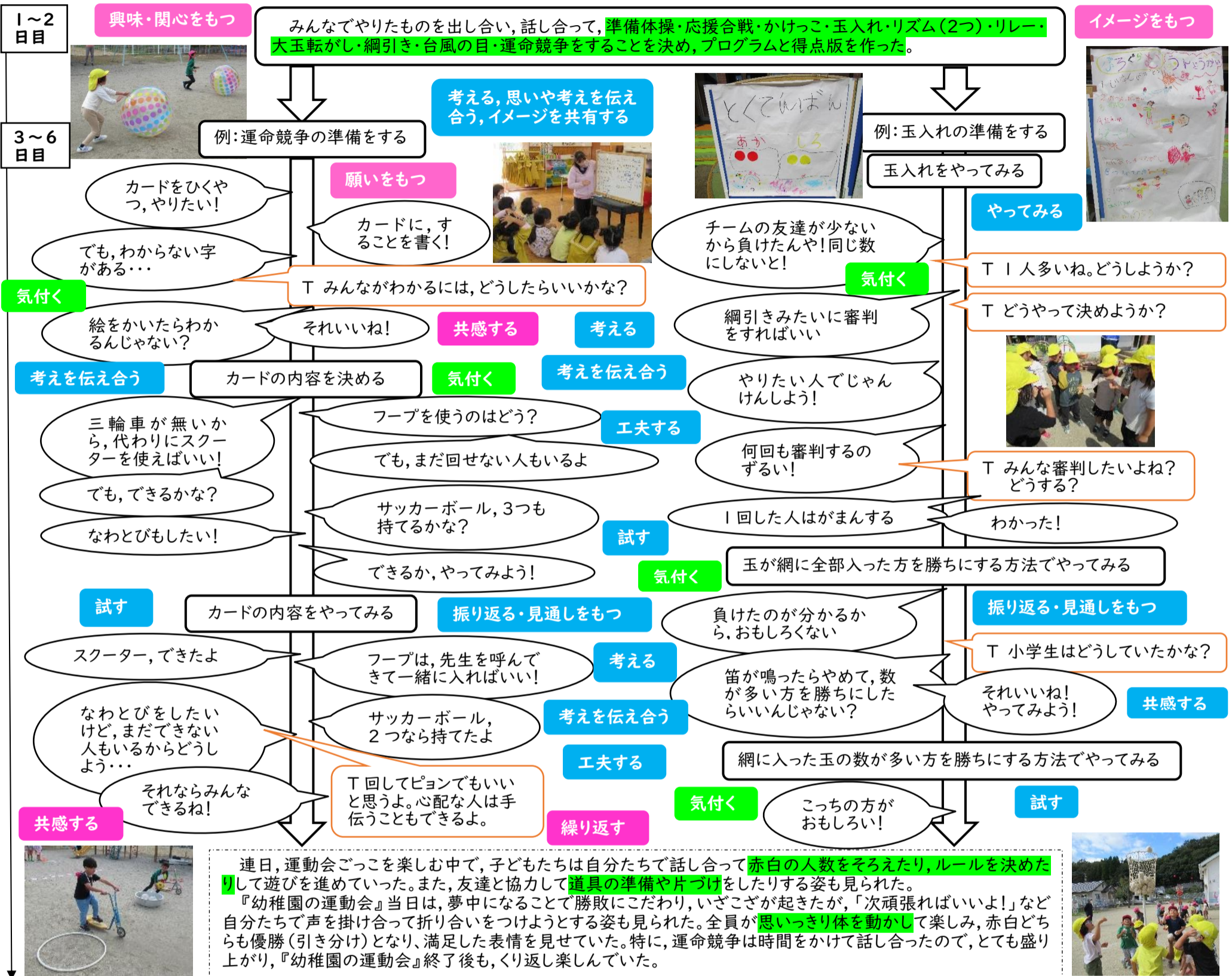
【遊びのプロセス】 *遊びの中で育まれている資質・能力を下のように表している

知識・技能の基礎 知識・技能の基礎

思考力・判断力・表現力の基礎

学びに向かう力・人間性等

小学生と合同の運動会を経験し、小学生の姿を見ていろいろな競技への興味・関心が高まっている子どもたち。教師が玉入れや綱引きなどの道具を出しておく、自分たちで準備したり片付けたりして毎日楽しんでいる。また、小学生の全校リズム「ソーラン節」に憧れ、友だちどうして教え合い夢中になって踊る姿も見られる。そのうち、「幼稚園でも運動会をしたい!」という意見が出て、『幼稚園の運動会』をすることになった。



<p>□環境の構成・</p> <p>◇援助のポイント</p>	<p>□子どもの「やってみよう」という思いが実現できるように、道具を準備し、使いたい時に自分たちで出して遊べるように配置する。</p> <p>□子どもたちが考えを出し合い、じっくりと話し合えるような場や時間を設定する。</p> <p>◇共通の目的を意識して遊びをすすめられるように、タイミングを見て振り返りの場をもち、思いや困りを出し合い、みんなで共有したり、相談したりするように促す。</p> <p>◇友達の姿や思いも意識して遊びをすすめられるように、振り返りや話し合いの場では、自分の思いを出すだけでなく友達の話を聞くように促す。</p> <p>◇困りの場面では、子どもの思いに共感し周りに広げるとともに、「どうしたらいいか」を一緒に考えるようにして、自分たちで遊びのルールを決めるように促す。</p>
--------------------------------	---

【本活動・遊びで着目したい「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」】

<p>健康な心と体</p> <p>言葉による伝え合い</p>	<p>協同性</p> <p>友達と一緒に運動会ごっこをする中で、互いの思いや考えを共有し、みんなで楽しく遊ぶための競技内容やルールを考えたり工夫したりするとともに、友達と協力して遊びをすすめることの楽しさを感じ、自分たちで『幼稚園の運動会』をつくりあげたという達成感を味わっている。</p>	<p>道徳性・規範意識の芽生え</p> <p>みんなで楽しく遊ぶためには、互いに思いや考えを出し合うだけでなく、友達のことを考えて競技内容やルールを工夫することが必要だと実感している。さらに、より遊びを楽しむために自分の気持ちを調整して折り合いをつけながらルールを作ったり守ったりするようになることで充実感を味わい、協同性が高まることにもつながっている。</p>
---------------------------------------	--	--

数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚

【小学校以降へつなげる資質・能力】

<p>《知識・技能の基礎》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を十分に動かす ・互いの思いや考えなどを共有する ・必要なルールを作ったり、守ったりする ・文字や数の必要性に気付き、使う 	<p>《思考力・判断力・表現力の基礎》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりする ・相手にわかるように伝え合いながら話し合い、力を合わせて問題を解決する 	<p>《学びに向かう力・人間性等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実感をもってやり遂げる ・自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付ける
--	---	--

